

<診療所の先生方へ 実施可能確認のお願い> 別紙『造影CT検査を受けられる方へ』も、患者さんにご説明頂きますようお願い致します。

造影CT検査問診票 兼 同意書 (紀南病院)

I. 今までに造影剤を使う検査を受けた事がありますか？

ない ある → 造影CT ・ 造影MRI ・ その他 () ・ 不明

II. 上記で「ある」と答えた方にお聞きします。検査中、検査後に副作用がありましたか？

特になし その他 _____
吐気 発疹 紅潮 かゆみ せき くしゃみ 頭痛 熱感

III. 気管支喘息と言われた事がありますか？

ない ある → 具体的にお書き下さい _____

IV. アレルギー性の病気または、薬や食物でアレルギーが出た事がありますか？

ない ある → じんましん・アトピー性皮膚炎・アレルギー性鼻炎・ _____
薬のアレルギー(薬剤名 _____)、食物のアレルギー(食物名 _____)

V. 腎臓が悪い(腎不全など)と言われた事がありますか？

ない ある

VI. 糖尿病の薬を内服していますか？ ☞参考：裏面にビグアナイド系糖尿病薬一覧があります

ない ある → 糖尿病薬： _____

VII. 心臓が悪い(心不全など)と言われた事がありますか？

ない ある

VIII. 甲状腺が悪い(甲状腺機能亢進症など)と言われた事がありますか？

ない ある

IX. 女性の方にお聞きします。現在、妊娠されていますか？

していない 妊娠中、または可能性がある

上記、質問事項II以降で、一つでも「ある」に該当された場合、実施を再検討して頂くか、当院から問合せさせて頂く事がございます。ご了承下さい。

<造影剤使用 同意書>

紀南病院長殿

年 月 日

私は、検査の内容とその必要性、造影検査時に使用する造影剤について、副作用の説明を聞き、問診を受けました。その上で、造影剤を使用することに同意します。また、副作用が見られた時には、必要な処置を受けることに同意いたします。

患者署名

代理人

(続柄：)

検査可能確認済み 紹介元医療機関

紹介元医師名

印

国内で発売されているビグアナイド系糖尿病薬 2019年1月現在

メトホルミン塩酸塩	イニシンク配合錠
	エクメット配合錠 LD/HD
	グリコラン錠 250 mg
	メタクト配合錠 LD/HD
	メトアナ配合錠 LD/HD
	メトグルコ錠 250 mg/500 mg
	メトホルミン塩酸塩錠 250 mg
ブホルミン塩酸塩	ジベトス錠 50 mg
	ジベトンS 腸溶錠 50 mg

造影CT検査を受けられる方へ（紀南病院）

★検査を受けて頂くには、別紙『造影検査問診票 兼 同意書』に患者様（または代理人）の署名が必要です。

1. 造影CT検査とは

造影CT検査とは、造影剤を血管内に注射して行う検査で、病変の存在や性状などが詳しく抽出され、診断に大変役立ちます。

2. 造影剤の副作用について

検査に際しては、その時点での症状や以前にかかった病気などに注意しながら安全に検査が行われるように努めておりますが、検査中あるいは検査後しばらくしてから下記の様な副作用が起きることがあります。

1) まれにおこる軽い副作用（発生頻度5%以下）

吐き気、嘔吐、頭痛、めまい、発疹、かゆみ、発熱、せき、手足のむくみなど

2) 極めてまれにおこる重い副作用

ショックやアナフィラキシー様反応（呼吸困難や血圧低下、呼吸停止、心停止など）

3) ヨード造影剤を用いた場合、一過性に腎機能障害が起きることがあります。

4) 以下の既往のある方は造影剤の副作用が生じる頻度が比較的高く、症状が強く出る場合もあり、造影検査を行わないことがありますので、紹介元医療機関の先生にお伝えください。（別紙、「問診票」にて、紹介元先生から、患者様に質問していただき、その後、同意書への署名をしていただくよう、紀南病院からお願いしております。）

a. 今までに造影剤による副作用症状を起こしたことがある方

b. 気管支喘息（ぜんそく）などのアレルギー性疾患のある方

c. ほかの薬剤過敏症やじんましんなどのアレルギー歴のある方

d. 糖尿病治療薬（ビグアナイド系）を内服中の方（お薬手帳を確認する場合があります）

e. 心臓病の疾患のある方

f. 甲状腺の疾患のある方

3. 検査の注意点

検査当日、午前に検査を受けられる方は朝食を抜いて頂き、午後に検査を受けられる方は朝食を午前8時までには終わらせ、その後検査終了まで絶食とします。他の検査などによる絶飲食の指示がない場合や、医師の指導による水分制限のある方を除き、脱水状態にならないよう、少量の水分補給（水またはお茶に限る）をしながら、検査にお越しくください。

また、ビグアナイド系糖尿病薬を服用している場合は、重篤な乳酸アシドーシスを発現することもあり、検査前後48時間は服用を中止する場合がありますので、紹介元先生と事前にご相談下さい。

4. 検査終了後

造影剤の多くは尿として排泄されます。検査終了後は、他の検査等による絶飲食の指示がない場合や、医師による水分制限の指導がない場合、水分を多めにとって下さい。

また、造影剤の副作用症状の多くは検査中、または検査直後に発生しますがごくまれに検査終了後に副作用症状がみられなくても、遅れて軽い副作用が見られる場合があります。（遅発性副作用）。症状が出るのは検査後数時間程度から数日後まで幅があります。遅発性副作用は一般に軽い症状が多く、頭痛、吐き気、めまい等の症状と、発疹、かゆみ、じんましん等の皮膚症状が中心で、症状出現後数時間以内に消失して治療を必要とするものは少ないとされていますが、症状が見られた場合は念のため病院へご連絡下さい。

紀南病院 ☎05979-2-1333